

キーワード・・・「新時代」

#### 〔時代の潮流〕

- ・我が国の労働力人口の減少を背景に、労働集約型産業等での構造的な労働力不足
- ・農政改革や国際通商協定等による産地間競争の激化や流通・販売構造の改革
- ・ICTやAI、ロボット技術などの進展による次世代型農林水産業の取組の兆し

#### これまでの取組の成果

- 農業については、メガ団地の整備等により、枝豆やネギ、キク等の産地拡大が飛躍的に進んだほか、新ブランド「秋田牛」のデビューや、花き・果樹のオリジナル品種の育成など、将来の本県農業の核となる基盤が整備され、平成27年の農業産出額の伸び率は全国一位。
- 林業については、ウッドファーストあきた県民運動を展開しながら丸太の供給体制や木材加工流通施設の整備等に努めてきた結果、平成20年度と比べて、素材生産量が約5割、木材生産の出荷量も約3割それぞれ増加するなど、本県が目指す木材総合加工産地づくりが着実に進展。

#### 新戦略の基本的な方向

- これまで「米依存からの脱却」を掲げ推進し、着実に成果も現れつつある本県農業の構造改革について、もう一段ステップアップした取組を進めていく。
- 加えて、上記の社会情勢の変化に的確に対応するため、新たな視点を踏まえながら、農林水産業の成長産業化に取り組む。
- 日本一のスギ資源の活用に向け、新たな市場の開拓等に取り組み、木材利用を一層促進していくとともに、秋田林業大学の機能強化を核とした人材育成など、生産体制の強化を図っていく。

#### 新時代 「人口減少社会を見据えた多様な担い手・労働力確保」

- 次代を担う農林水産業の多様な担い手の確保・育成
  - ・新規就農者の確保と就業構造としてバランスのとれた年齢構成の構築。
  - ・秋田林業大学校での高性能林業機械の研修拡充による、高い技術を持った人材の育成。
  - ・県内外の漁業就業希望者への体験研修の実施、自立志向者を対象にした本格的な研修の実施。
- 多様なルートから秋田に呼び込む移住就業の促進
  - ・移住者の技術習得から経営の開始・定着に至るまで、ソフト・ハードの両面から総合的に支援。
- 農業労働力の安定確保と農作業の軽労化の促進
  - ・先進的な「秋田型」労働力調整モデルの展開とサポート体制の充実。
  - ・農作業の軽労化のため、パワーアシストスーツなどロボット技術の普及拡大。

#### 新時代 「平成30年以降の産地間競争の激化を見据えた対応」

- <複合型生産構造への転換の加速化>
- 大規模園芸拠点、大規模畜産団地を核とした戦略作目の拡大
  - ・園芸メガ団地等の大規模園芸拠点を県全域に整備し、大規模な経営体を育成。
  - ・収益性の高い大規模畜産団地の全県展開により、本県畜産の生産基盤を強化。
- しいたけや枝豆など日本一を目指す園芸産地づくり
  - ・しいたけを重点品目と位置づけ、枝豆に続き日本一を目指し、生産拡大。
- <戦略的な秋田米の生産・販売>
- 業務用や特定需要など実需と結びついた米づくりの推進
  - ・業務用米にも機動的に対応できる米産地の確立。
- 次代を担う秋田米新品種デビューによる販売強化
  - ・次代のプライスリーダーを超える極良食味米の開発、生産から販売に至るデビュー対策。

#### 新時代 「新次代をリードする先端技術の活用による農林水産業の振興」

- <農林水産業の振興>
- 先端技術と融合したアグリテックによる生産効率の向上
  - ・ICT技術活用による農作物の最適な生育環境を自動制御する新技術の実証・普及
- 省力化技術やICT導入による超低コスト稲作経営の展開
  - ・ICT技術等を活用した管理技術の効率化により、生産費低減。
- <林業・木材産業の振興>
- 秋田スギを活用した新たな木質部材等による需要拡大
  - ・新たな木材需要の創出が期待されるCLT等の新しい木質部材の開発。
  - ・競争力の高い木材製品の供給体制の整備。
  - ・東京オリンピック需要を契機とした県産木材製品の県内外での需要拡大。
- <水産業の振興>
- つくり育てる漁業による資源の維持・増大
  - ・水産振興センター栽培漁業施設を核とした、新たな魚種の種苗生産技術の確立。

#### 新時代 「企業ニーズに対応した流通・販売戦略」

- 秋田の強みを生かした農林水産物の輸出促進
  - ・海外に販路を持つ企業と連携し、ターゲットを定めた輸出を促進。
  - ・イタリアミラノの展覧会で秋田スギ家具製品をPRし、秋田スギのブランド力の向上。
- 企業とタイアップした流通・販売体制の構築
  - ・企業による産地囲い込みの動きに対応するため、生産者の組織化を推進。
  - ・企業ニーズに対応した新たな生産流通体制を整備。
- GAP等による安全・安心対策の強化
  - ・東京オリンピックを契機にスタンダード化が見込まれる適正農業規範(GAP)の取組拡大

## 「新時代」を勝ち抜く攻めの農林水産戦略（仮称）に関する施策の方向性

- 今後の施策を大きく7分野に区分するとともに、各施策における検討の視点、並びにポイントについて、次のとおり整理。

注：★印は、新しい視点

### （施策1）秋田の農林水産業を牽引する多様な人材の育成

#### 【検討の視点】人口減少社会を見据えた多様な担い手・労働力の確保

- 〔ポイント〕
- ・ 幅広い年齢層からの新規就業者の創出 ★
  - ・ 多様なルートから秋田に呼び込む移住就業の促進 ★
  - ・ 農業労働力の安定確保と農作業の軽労化の促進 ★
  - ・ 次代を担う中核的な漁業者の育成
  - ・ 次代の秋田の林業をリードする人材育成

### （施策2）秋田の農林水産物の高付加価値化と国内外への展開強化

#### 【検討の視点】業務用需要への積極的な対応、関西圏や海外などへの商域の拡大

- 〔ポイント〕
- ・ 秋田の強みを活かした県産農産物の知名度・ブランド力の向上、輸出の促進
  - ・ 物流等企業との連携による流通・販売体制の構築 ★
  - ・ G A Pの取得等による安全・安心対策の強化 ★

### （施策3）複合型生産構造への展開の加速化

#### 【検討の視点】平成30年以降の産地間競争の激化を見据えた対応（米以外）

- 〔ポイント〕
- ・ 園芸や畜産の大規模生産拠点を核とした戦略作目の生産拡大
  - ・ しいたけや枝豆など日本一を目指す園芸産地づくり ★
  - ・ 先端技術の活用による生産性の向上 ★

### （施策4）戦略的な秋田米の生産・販売の促進

#### 【検討の視点】平成30年以降の産地間競争の激化を見据えた対応（米）

- 〔ポイント〕
- ・ 業務用や特定需要などの実需と結びついた米づくりの推進 ★
  - ・ 省力化技術やICT導入による超低コスト稲作経営の展開 ★
  - ・ 次代を担う秋田米新品種デビューによる販売強化 ★

### （施策5）「ウッドファースト秋田」による林業・木材産業の振興

【検討の視点】秋田スギを活用した新たな木質部材等による県産材の需要拡大

- [ポイント]
- ・ 需要の創出が期待されるCLT等の新たな木質部材の開発 ★
  - ・ オリパラを契機とした県産木材製品の国内外での需要拡大 ★
  - ・ 競争力の高い木材製品の供給体制の整備

### （施策6）つくり育てる漁業と「広域浜プラン」の推進による水産業の振興

【検討の視点】全国豊かな海づくり大会の開催を契機とした水産業の振興

- [ポイント]
- ・ つくり育てる漁業による資源の維持・増大
  - ・ 地魚を使った本県独自の水産加工品の開発促進、路拡大
  - ・ 広域浜プランに基づく生産・流通の合理化、担い手の確保 ★

### （施策7）地域資源を活かした活気ある農山漁村づくり

【検討の視点】都市住民やインバウンド需要を呼び込むグリーンツーリズムの展開と、里地・里山の保全

- [ポイント]
- ・ 農泊等による都市との交流人口の拡大 ★
  - ・ 農家レストランや農家民宿など多様なアグリビジネスの拡大
  - ・ 条件不利地域に営農継続に向けた支援 ★
  - ・ 豊かな景観や多様な地域資源を有する里地里山の保全承継 ★